

類	品名・性状	級	指定数量	品名	物品名	特徴			
1	第一種酸化性固体	I	50kg	塩素酸塩類	塩素酸ナトリウム	潮解性を有する。			
					塩素酸カリウム	水には溶けにくい。熱水に溶ける。			
					塩素酸アンモニウム	不安定。常温でも爆発。加熱しても爆発。			
				過塩素酸塩類	過塩素酸ナトリウム	潮解性を有する。			
					過塩素酸カリウム	水には溶けにくい。			
					過塩素酸アンモニウム	分解時に多量のガスを発生するので危険性が高い。			
				無機過酸化物	過酸化ナトリウム	吸湿性が強い。純粋なものは白色、普通は黄白色の粉末。			
					過酸化カリウム	吸湿性が強い。潮解性を有する。オレンジ色の粉末。			
					過酸化マグネシウム	希酸類に溶けて過酸化水素を発生する。			
					過酸化カルシウム	希酸類に溶けて過酸化水素を発生する。			
	亜塩素酸塩類	亜塩素酸ナトリウム	灰白色の粉末。有毒。						
		亜塩素酸カリウム	吸湿性が強い。						
	第二種酸化性固体	II	300kg	硝酸塩類	硝酸ナトリウム	エチルアルコールに溶けにくく、アセトンには溶けない。			
					硝酸カリウム	潮解性を有する。			
				亜硝酸塩類	亜硝酸ナトリウム	水によく溶ける。			
					亜硝酸カリウム	水に溶けやすく、吸熱反応を示す。			
				よう素酸塩類	よう素酸ナトリウム	水によく溶けるが、エチルアルコールには溶けない。			
				よう素酸カリウム	水に溶ける。				
				過マンガン酸塩類	過マンガン酸カリウム	黒紫色又は赤紫色の結晶。水に溶けると濃紫色。			
				過マンガン酸ナトリウム	赤紫色の結晶。潮解性を有する。水溶液で市販。				
				重クロム酸塩類	重クロム酸アンモニウム	橙赤色の結晶。水にもエチルアルコールにも溶ける。			
重クロム酸カリウム					橙赤色の結晶。有毒。				
第三種酸化性固体	III	1,000kg	その他のもので政令で定めるもの	過よう素酸ナトリウム	水に溶ける。				
				メタ過よう素酸	潮解性を有する。水によく溶ける。				
				無水クロム酸(三酸化クロム)	暗赤色の針状結晶。潮解性を有する。水溶液を加熱するとオゾンが発生。				
				亜硝酸ナトリウム	白色又は微黄色の粒状・棒状・粉末。吸湿性を有する。				
				次亜塩素酸カルシウム	カルキ。強烈な塩素臭。吸湿性を有する。漂白作用・殺菌作用。				
				ペルオキシ二硫酸カリウム	水にはわずかに溶け、熱水に溶ける。				
				ペルオキシほう酸アンモニウム	加熱すると、約50℃でアンモニア、後に酸素を放出する。				
				三硫化りん	黄色の結晶。水に溶けず、二硫化炭素やベンゼンには溶ける。				
				五硫化りん	淡黄色の結晶。水と作用し徐々に分解。二硫化炭素に溶ける。				
				七硫化りん	淡黄色の結晶。水と作用し水温に応じて分解。二硫化炭素に僅かに溶ける。				
2	II	100kg	硫化りん	三硫化りん	黄色の結晶。水に溶けず、二硫化炭素やベンゼンには溶ける。				
				五硫化りん	淡黄色の結晶。水と作用し徐々に分解。二硫化炭素に溶ける。				
				七硫化りん	淡黄色の結晶。水と作用し水温に応じて分解。二硫化炭素に僅かに溶ける。				
				赤りん	赤褐色の粉末。水にも二硫化炭素にも溶けない。臭気も毒性もない。				
				硫黄	黄色又は淡黄色の固体又は粉末。水に溶けず、二硫化炭素に溶ける。				
				第一種可燃性固体	アルミニウム粉	銀白色の粉末。水との接触、酸・アルカリに溶けることで水素を発生。			
					亜鉛粉	灰青色の粉末。アルミニウム粉より融点は低く、危険性は少ない。			
					マグネシウム	銀白色の軽金属。点火すると白色の光を放ち激しく燃焼。			
					鉄粉	灰白色の粉末。酸に溶けて水素を発生。アルカリには溶けない。			
				第二種可燃性固体	その他のもので政令で定めるもの	※現在定められていない			
引火性固体	固形アルコール	通常乳白色の寒天状。40℃未満で可燃性蒸気を発生する。							
3	I	10kg	カリウム	カリウム	銀白色の柔らかい金属。比重0.86。融点64℃以上。熱すると紫色に燃える。				
				ナトリウム	銀白色の柔らかい金属。比重0.97。融点98℃以上。熱すると黄色に燃える。				
				アルキルアルミニウム	TMA。無色の液体。揮発性・腐食性を持ち、ナトリウムの原料となる。				
				トリエチルアルミニウム	TEA。無色の液体。不活性ガス雰囲気下で保存。				
				エチルアルミニウムジクロライド	EADC。無色の結晶性固体。プラスチックや合成ゴムの製造時の重合触媒。				
				エチルアルミニウムセスキクロライド	EASC。無色の液体。不活性ガス雰囲気下で保存。				
				アルキルリチウム	アルキルリチウム	黄褐色の液体。ジエチルエーテル、ベンゼン、パラフィン系炭化水素に溶ける。			
				第一種自然発火性物質及び禁水性物質	アルカリ金属及びアルカリ土類金属	リチウム	銀白色の柔らかい金属。比重0.53。融点179℃以上。熱すると深紫色に燃える。		
					カリウム	銀白色の柔らかい金属。比重0.86。融点64℃以上。熱すると紫色に燃える。			
				バリウム	銀白色の柔らかい金属。比重1.55。融点848℃以上。熱すると橙赤色に燃える。				
有機金属化合物	エチルリチウム	銀白色の柔らかい金属。比重4.5。融点729℃以上。熱すると黄緑色に燃える。							
第二種自然発火性物質及び禁水性物質	黄りん	黄りん	無色の液体。ジエチルエーテル、ベンゼンに溶ける。水と反応しエタンガス発生。						
	金属の水素化合物	白色又は淡黄色の蠟状固体。不燃性。猛毒。水に不溶。ベンゼン等に可溶。							
4	II	300kg	特殊引火物	水素リチウム	白色の結晶。高温でリチウムと水素に分解。				
				水素ナトリウム	灰色の結晶性粉末。有毒。約800℃でナトリウムと水素に分解。				
				りん化カルシウム(りん化石灰)	暗赤色の塊状固体又は粉末。水・弱酸と激しく作用し、りん化水素を発生。				
				炭化カルシウム	純粋は白色結晶。普通は灰黒色又は紫褐色の塊状固体。水でアセチレンガス。				
				炭化アルミニウム	純粋は白色結晶。普通は不純物で黄色の結晶。水と反応しメタンガス発生。				
				その他のもので政令で定めるもの	トリクロロラン(三酸化シラン)	無色の流動性液体。水に溶けて加水分解し、塩化水素を発生。			
				第一石油類(非水溶性液体)	II	2000	第一石油類(非水溶性液体)	ジエチルエーテル	無色透明で特臭の液体。比重0.71。水に微溶。エチルアルコールに溶ける。
								二硫化炭素	無色透明。不純物で黄色の液体。比重1.26。水に不溶。保存時は水を張る。
								アセトアルデヒド	無色透明で刺鼻臭の液体。水によく溶け、エチルアルコール等にも溶ける。
								酸化プロピレン	無色透明でエーテル臭の液体。それと水に溶ける。不活性ガス封入貯蔵。
ガソリン	着色されない限り無色透明で特臭の液体。比重0.65。引火点40℃以下。								
ベンゼン	無色透明で特臭の液体。比重0.88。引火点-10℃。揮発性。蒸気は有毒。								
トルエン	無色で芳香臭の液体。比重0.87。引火点5℃。水に不溶。有機溶剤に溶ける。								
メチルエチルケトン	無色で特臭の液体。比重0.81。引火点-7℃。水に微溶。有機溶剤に溶ける。								
酢酸エチル	無色で果実臭の液体。比重0.9。引火点-3℃。水に微溶。有機溶剤に溶ける。								
第二石油類(非水溶性液体)	III	1,000	第二石油類(非水溶性液体)					アセトン	無色透明で特臭の液体。比重0.79。引火点-20℃。水や有機溶剤に易溶。
				ピリジン	無色で悪臭の液体。比重0.98。引火点20℃。水や有機溶剤に易溶。有毒。				
				メチルアルコール	消溶性。無色透明で芳香臭の液体。比重0.79。引火点11℃。毒性。				
				エチルアルコール	消溶性。無色透明で芳香臭の液体。比重0.79。引火点13℃。麻醉性。				
				n-プロピルアルコール	消溶性。無色透明の液体。比重0.8。引火点23℃。水や有機溶剤に易溶。				
				i-プロピルアルコール	消溶性。無色透明の液体。比重0.79。引火点15℃。水や有機溶剤に易溶。				
				灯油	無色又は淡紫色・黄色の液体。比重0.8。引火点40℃以上。水に不溶。				
				軽油	淡黄色又は淡褐色の液体。比重0.85。引火点45℃以上。水に不溶。				
				キシレン	無色透明で特臭の液体。比重0.86。引火点27℃以上。				
				クロロベンゼン	無色透明で特臭の液体。比重1.10。引火点29℃以上。				
第二石油類(水溶性液体)	III	2,000	第二石油類(水溶性液体)	n-ブチルアルコール	無色透明で特臭の液体。比重0.8。引火点29℃以上。多量の水に一部残し可溶。				
				酢酸	無色透明で刺鼻臭と酸味を持つ液体。比重1.05。引火点41℃。水などに易溶。				
				プロピオン酸	無色透明の液体。比重1.00。引火点52℃。水やエチルアルコールなどに易溶。				
				アクリル酸	無色透明の液体。比重1.06。引火点51℃。水などに易溶。非常に重合しやすい。				
				重油	暗褐色の粘性液体。比重0.9。引火点60℃以上。水に不溶。				
				クレオソート油	黄色又は暗緑色で特臭の液体。比重1.0以上。引火点73.9℃。水に不溶。				
				アニリン	無色又は淡黄色。普通は褐色で特臭の液体。水に難溶。有機溶剤に可溶。				
				ニトロベンゼン	淡黄色又は暗黄色で芳香臭の液体。比重1.2。引火点88℃。蒸気は有毒。				
				エチレンジオキソール	無色透明で甘い粘性液体。比重1.1。引火点111℃。水溶性。				
				グリセリン	無色透明の粘性液体。水溶性だが二硫化炭素やベンゼンには不溶。				
第三石油類(非水溶性液体)	III	2,000	第三石油類(非水溶性液体)	ギヤー油	粘性の液体。水に不溶。引火点は200℃以上250℃未満。				
				シリンドラ油	粘性の液体。水に不溶。引火点は200℃以上250℃未満。				
				ヤシ油	比重0.9。引火点は250℃未満。水に不溶。よう素、酸化熱で自然発火。				
				アマニ油	比重0.9。引火点は250℃未満。水に不溶。よう素、酸化熱で自然発火。				
				第三石油類(水溶性液体)	III	4,000	第三石油類(水溶性液体)	過酸化ベンゾイル	無色又は白色の結晶。水に不溶。有機溶剤に可溶。常温で安定。100℃で分解。
								メチルエチルケトンパーオキサイド	無色透明で特臭の油状液体。水に不溶。ジエチルエーテルに可溶。通気性貯蔵。
								硝酸メチル	無色透明で芳香臭の液体。甘み。水に不溶。エチルアルコール等に可溶。
								硝酸エチル	無色透明で芳香臭の液体。甘み。水に微溶。エチルアルコールに可溶。
								ニトログリセリン	無色の油状液体。甘み。有毒。水に不溶。有機溶剤に可溶。8℃で凍結。
								ニトロセルロース	硝酸繊維素。水に不溶。酢酸エチルやアセトン等に可溶。
ピクリン酸	黄色の結晶。苦味。有毒。熱水、有機溶剤等に可溶。融点で昇華。								
トリニトロトレン	淡黄色の結晶。日光で茶褐色に。水に不溶。加熱したアルコールには可溶。								
ジニトロソベンタメチレンテトラミン	淡黄色の粉末。水やベンゼンやアセトンに微溶。ガソリンには不溶。								
アゾビス(イソプロピル)ニトリル	白色の結晶性粉末。融点100℃前後で窒素とシアンガスに分解。								
第一種自己反応性物質	I	10kg	有機過酸化物	ジアンジニトロフェノール	黄色の不安定形粉末。光で褐色に。水に不溶。アセトンに可溶。爆発性。				
				ドランジンの誘導体	白色の結晶。冷水やエチルアルコールには不溶。温水中に可溶で酸性。				
				ヒドロキシルアミン	白色の結晶。水やエチルアルコールに易溶。加熱により分解。爆発する。				
				ヒドロキシルアミン	白色の結晶。水に易溶。アルコール類には不溶。強酸性。潮解性を有する。				
				その他のもので政令で定めるもの	硫酸ヒドロキシルアミン	無色の結晶。水に易溶。アルコール類には不溶。強酸性。			
				アジ化ナトリウム	無色の板状結晶。水に可溶。ジエチルエーテルに不溶。単体で爆発性はない。				
				硝酸アミン	白色の結晶。水やエチルアルコールに易溶。加熱・衝撃で爆発性がある。				
				第二種自己反応性物質	II	100kg	有機過酸化物	過塩素酸	無色の爆発性液体。不安定。冷却所で密閉容器に保存しても黄変・爆発危険性。
								過酸化水素	純粋なものは無色の粘性液体。水溶性。弱酸性。不安定で爆発危険性。
								硝酸	無色の液体。98%以上は発煙硝酸。赤褐色の液体。有毒な二酸化窒素を発生。
三ふっ化臭素	無色の液体。空気中で発煙。低温で固化。水と激しく作用して酸素を発生。								
五ふっ化臭素	無色の液体。蒸発しやすい。三ふっ化臭素より反応性が高く、ふっ化物を生成。								
五ふっ化よう素	無色又は淡黄色の液体。水と激しく作用してふっ化水素酸を発生。								
6	I	300kg	過塩素酸					過塩素酸	無色の爆発性液体。不安定。冷却所で密閉容器に保存しても黄変・爆発危険性。
								過酸化水素	純粋なものは無色の粘性液体。水溶性。弱酸性。不安定で爆発危険性。
								硝酸	無色の液体。98%以上は発煙硝酸。赤褐色の液体。有毒な二酸化窒素を発生。
								三ふっ化臭素	無色の液体。空気中で発煙。低温で固化。水と激しく作用して酸素を発生。
				五ふっ化臭素	無色の液体。蒸発しやすい。三ふっ化臭素より反応性が高く、ふっ化物を生成。				
				五ふっ化よう素	無色又は淡黄色の液体。水と激しく作用してふっ化水素酸を発生。				